提案

日付：2022/7/22

件名 ： コミュニティバス「もくせい号」降車時の声掛けについて
1.問題、課題
いつも大変お世話になります。
障がい者相談支援事業所の相談員をしております。
件名の件で、ご提案させていただきます。

「もくせい号」の町のホームページにも既にご掲載されておりますが、倉見大村ルート、南ルートの運行車両には降車ボタンがないため、耳の不自由な方へのご配慮として、バス停名が書かれた用紙が用意されております。

課題①
表示が「耳の不自由な方」となっており、それ以外の理由で声掛けが出来ない方々（発声が不自由な方、自閉症の方、知的障害のある方等）にとって、使用するのが憚られます。
課題②
先日、私自身も乗車して使用してみましたが、用紙はしばらく使用されていなかったのかとても汚れており用紙を手に取ることを躊躇しました。筆記用具も用意されておらず（ペンをぶら下げる紐はありましたが、ペン自体はありませんでした）、運転手に筆記用具を借りようとしたところ、運転手の方もなぜ筆記用具を貸さないと
いけなければいけないか分からないご様子でした。
課題③
コロナウィルス感染拡大防止対策で、運転席と乗車席の間に飛沫拡散防止シートも設置されている為、大きな声を出さないと運転手に声が届きません（特に後方部座席に乗車した際）。

2.改善案 ：
以上のことから、降車ボタンの設置或いはそれに代わる対策をお願いしたいと思います。

3.改善後の効果 ：
・様々な理由で発声に不自由さを感じている方々が、安心してコミュニティバスを利用できるようになると考えます（合理的配慮の提供）。
・コロナウィルス感染拡大防止対策としても有効だと考えます。

回答

＜コミュニティバス「もくせい号」降車時の声掛けについて＞　　【所管：都市計画課】

このたびはコミュニティバス降車時における現状及び改善についてのご提案をいただきありがとうございます。

コミュニティバスは交通弱者を主体に、町民の移動手段を確保することを目的に運行しておりますが、その様な中、ご提案者様のご意見にありますように、様々な理由から利用しにくい、或いは利用することで少なからずもストレスを与えてしまう状況である事を改めて認識いたしました。

改善策でございますが、降車ボタンの設置につきましては、費用及び改修期間に要する代替バスの確保といった理由から即時での対応は困難であるため、将来的な車両の入れ替え時に向けて検討して参ります。また、当面の対応でございますが、ご指摘いただきました用紙及びペンについては、表示文言の改善や設置場所の検討を進め、併せて清潔を保つための定期的な消毒等を実施する管理体制の充実に努めて参ります。

今回のご提案内容につきましては運行事業者と情報共有をさせていただき、コミュニティバス利用時におけるサービスや合理的配慮の提供に関し検討を進め、利用環境の向上に取組んで参ります。